

少しの気づき

鳥取県米子市立淀江中学校 3年 野口 結花



私はこれまで非行とは万引きや暴力など目に見える悪い行動だけだと思っていました。でも、ネット上でのいじめや嘘の情報の拡散といった目に見えない非行、ルールを守らない、ふざけなどの小さな非行もあると知りました。

そのきっかけは、中学校で非行防止教室が行われたことです。その中で警察の方が「最初は小さなきっかけからはじまることが多い。」と話していました。例えば夜遅くまで出歩くこと、友達の悪口を言ってしまうこと。最初は「このくらいなら大丈夫」と思っていても後に大きな問題につながるということが分かりました。

私はその話をきいて少し不安になりました。ルールを守らない、軽いふざけといった場面を見ることはたくさんありました。でも、それに自分は関わっていないと思い何も言わないことがほとんどでした。それが犯罪や非行につながると分かったら見て見ぬふりをしてはいけないなと思いました。

犯罪や非行を防ぐためには、周りの人とのつながりが大切だと私は考えます。理由は三つあります。

一つ目は、やらないだけでなく、やっている人を止めることが大切です。そのためには「よくないよ」と言い合える仲間が必要です。そうすると、自分も仲間も守ることができます。

二つ目は、地域の人とのあいさつや、会話が大切だと思います。なぜなら、顔見知りが増えれば何かあったときに助け合えるし、不審な行動にも気づくことができるからです。

三つ目は、家庭や学校で話を聞いてもらえる環境が大切だと思います。少しの勇気で人に話せたら、少しでも気が楽になり悪い方向には進まずにすむかもしれませんからです。

私は犯罪、非行のない地域にするために、自分で出来ることを少しづつでも実行していきたいです。大きなことはできなくても毎日のあいさつや友達大事にすることなど小さな行動を積み重ねていくことが大事だと思います。

そして、私たち一人ひとりが自分には関係ないと思わず、小さな違和感にも目を向けて行動していくことが安心できる地域社会への一歩につながると思っています。